

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

令和6年度事業実施報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

令和2年当初に新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、拡大・縮小を繰り返したが、令和6年度はコロナ禍によるシルバー事業への影響も次第に収束に向かった。

経済指標の一つである有効求人倍率は、1.35倍前後で推移していて、有効求職者数は減少気味である。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

このような状況の中、シルバー事業においては請負契約及び派遣契約において回復基調になってきており、特に派遣契約については令和6年度末には令和元年度の水準以上まで回復している。

しかしながら、高齢者の就労促進は地域経済を支えるため喫緊の課題であることには論を待たない。また、地域においては、高齢者の一人暮らし世帯への支援、子育て支援、介護予防への取組、空き家の適切な維持管理等の人手不足分野への対応などこれまで以上の需要が見込まれる。

このため、引き続き多様な地域ニーズや企業の求人状況などを適宜把握し、就業開拓を積極的に進めるとともに、行政機関と連携した公益的分野への進出・拡大も行い、請負・派遣の事業展開では、受注件数、契約金額、就業延人員とも前年度実績を上回るべく取り組んできたところである。

これを実現するためには、会員の拡大が基本的条件となるため、改正高齢法39条による業務拡大の活用及び高齢者活躍人材確保育成事業による就業体験、技能講習を通じた会員の確保を最重要課題として取り組んだところである。

しかしながら、高齢法の改正等により、65歳までの雇用確保義務、また、70歳までに雇用の確保等に関する努力義務が法制化された影響等もあり、60歳代の新規加入会員が激減している。従って、今後は新規会員獲得に向けた魅力ある就業開拓に積極的に取り組まねばならない。とりわけ人口比から見て拡大の余地が大きい女性会員の拡大は喫緊の課題である。女性の感性にアピールする広報や女性の就業意欲を喚起する仕事の就業開拓等に取り組むことが重要である。

さて、シルバー事業の現状については、令和6年度末で請負実績（契約金額）において2.7%増、一方、派遣実績（契約金額）においては、1.3%増となっており、事業全体（契約金額）では2.5%の増となっている。

また、会員数については、新規加入者の確保と同時に退会希望者に対する個人面談、就業ニーズに応じた就業斡旋等退会抑止の対策を講じたところである。令和6年度末で各センターにおいて増減はあるが、全県で会員数が0.3%増、人数にして10人増加した。

	会員数(人)	受注件数(件)	契約金額(円)	就業延人員(人)
令和6年度	3,241	24,462	1,285,115,179	258,100
令和5年度	3,231	25,961	1,254,080,918	264,123
前年比	+ 10	- 1,499	+ 31,034,261	- 6,023

1 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業は、安全適正就業が基本であり、最優先課題として組織的に取り組みを進めてきた。

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催

第1回

令和6年4月16日（火）（オンライン）16名参加

- ① 令和5年度事故発生状況について
- ② 令和5年度安全・適正就業対策実施計画（案）について

第2回

令和7年2月21日（金）（オンライン）16名参加

- ① 令和6年度事故発生状況について
- ② 令和6年度安全・適正就業推進事業の実施状況について
- ③ 令和7年度安全・適正就業推進事業基本計画（案）について

(2) 安全就業対策講習会

「転倒防止と予防（実技）について」を各理学療法士・保健師からの講演を受講

- ① 東部地区 令和6年11月7日（木）参加者16名
- ② 中部地区 令和6年11月8日（金）参加者18名
- ③ 西部地区 令和6年11月5日（火）参加者23名

(3) 安全・適正指導者会議・安全パトロール担当者会議

令和6年7月9日（火）（倉吉体育文化会館）

全県下ＳＣが一堂に会し、令和６年度事業計画の説明及び各センターの事故対策等の取組報告 参加者２２名

(４) 各センターの安全・適正就業推進員による安全パトロール（剪定・草刈作業）

八頭町ＳＣ ６月１９日（水）１箇所 剪定作業 就業会員 ３名

北栄町ＳＣ ９月１７日（火）１箇所 剪定作業 就業会員 ５名

大山町ＳＣ １１月１９日（水）１箇所 草刈作業 就業会員 ３名

(５) 連合会及び各センターの安全・適正就業推進員による安全パトロール

・県下１３回（対象就業会員１３５名）

(６) 安全・適正就業研修会の開催

令和６年７月１９日（金）（倉吉体育文化会館）７９名参加

・講話「高所における安全対策について」

鳥取労働局労働基準部地方産業安全専門官 片山竜次 氏

・事例発表「広報紙シルバー八頭の中から」 八頭町ＳＣ 矢山 貢 氏

・事例発表「北栄町ＳＣにおける安全・適正就業の取組について」

北栄町ＳＣ 田中英伸 氏

・事例発表「信頼できる仕事を目指して（老体に鞭を打ってワンチームで頑張ろう！）」 日南町ＳＣ 坪倉幸徳 氏

(７) 安全就業標語募集 令和６年４月２８日（金）～６月３日（月）

各センターの会員及び役職員が応募

応募件数 １４７件

最優秀賞 「見逃すな 慣れた作業に 潜む事故」 鳥取市ＳＣ 本田正法 氏

２ 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の意義、理念及び事業活動を県民各層に広く周知するとともに、この事業への理解と参加を求めるため普及啓発活動を実施した。

(１) 連合会機関誌「会報鳥取」の発行

令和７年１月 ５００部

3 就業開拓事業

県内企業、官公庁・各種団体等を訪問し、多様な就業分野の開拓・拡大及び開拓した情報をセンターに提供し、県内全域の就業開拓及び調整を行った。

(1) 就業機会開発推進委員会の開催

令和6年7月5日（金） オンライン会議により開催した。

(2) 就業開拓推進員の配置

県内企業、官公庁等を訪問し就業機会の確保・提供及び新たな就業分野の開拓に努めた。 令和6年度 訪問件数 217件

(3) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

県内企業及び官公庁等を訪問し、ホワイトカラー系の仕事を中心に就業開拓・情報提供に努めた。 令和6年度 訪問件数 217件

(4) シルバー派遣会員就業調査 訪問件数 7件

合 計 224件

4 交流・研修事業

シルバー人材センター事業全般に亘っての理解と事業活動の充実、発展を図るため、センター役職員、実務担当者を対象に資質の向上と意識の高揚を図るため研修会等を実施した。

1 中国ブロックシルバー人材センター連合協議会役職員研修会（開催県・島根県）

令和6年10月29日（火）～10月30日（水）松江市くまびきメッセ「大展示場」において開催され本県からは、24名が参加した。参加者総数は240名であった。

- ・基調講演「会員拡大とPDCAによる目標管理」 全シ協業務部長 石原 亘 氏
- ・講演「介護業界の現状とシルバー派遣事業の活用」

社会福祉法人みずうみ法人本部法人推進室 室長補佐 武田和也 氏

2 包括契約・公益法人制度改正研修会

令和7年1月15日（水）（倉吉体育文化会館）

衣目成雄公認会計士・税理士事務所所長 公認会計士・税理士 衣目成雄 氏

5 シルバー派遣事業

センター会員の就業・就労ニーズの多様化への対応と職域の拡大に加え適正就業の推進を図った。

(1) 第1回シルバー派遣事業運営委員会（オンライン）令和6年7月26日（水）

15名参加

議題

- ① 令和5年度派遣実績・配分手数料明細（年間）
- ② 令和5年度派遣事業収支実績
- ③ 鳥取県シルバー派遣事業実績4か年の推移
- ④ 令和5年度 派遣会員に係る労災事故

(2) 第2回シルバー派遣事業運営委員会（オンライン）令和7年3月11日（火）

16名参加

議題

- ① 令和6年度シルバー派遣事業補正予算（案）について
- ② 令和7年度派遣事業予算（案）について
- ③ 鳥取県シルバー派遣事業実績4か年の推移
- ④ 「Collabo80+」と「Smile to Smile」の連携について

(3) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）（令和7年2月末現在）

就業実人員 592人

就業延人数実績 45,727人日

6 シルバー事業支援要請行動

連合会会長、副会長及び事務局長が、鳥取労働局及び鳥取県に対し連合会への支援要請並びにシルバー人材センター事業への支援要請を行った。

令和6年4月19日（金）

令和6年8月6日（火）

7 シルバー人材センター指導（原則3年に一度実施）

高年齢者雇用安定法第47条に基づき、その設置目的に沿った運営がなされているかの指導及びその他の援助を行う。今年度は、連合会事務局長の体調不良等の理由により全シ協と協議の結果、5指導対象センターから提出のあった調査票及び付属書類を基に書面上の指導を行った。

令和6年度の指導対象センターは、三朝町SC、倉吉市SC、琴浦町SC、湯梨浜町SC、八頭町SCである。

8 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー未加入の高齢者、職種転換希望者若しくは昨年度1年間就業していないシルバー会員、また、シルバー会員が希望する分野での仕事の発注が見込まれる企業等を対象に、マスメディアを利用した周知・広報を実施するとともに、セミナー・就業体験・技能講習を開催し、シルバー会員の拡大、シルバーを活用する企業等の増加に努めた。

- (1) 周知・広報は、テレビ、県政だより等により会員募集、各商工会議所広報紙等に広告を掲載し、仕事の募集等を実施した。
- (2) セミナーは、女性会員の増加を念頭に置き、東・中・西部地区で「手作りかご編み教室」を開催し50名が受講、西部地区で開催した「ガーディニング教室」には50名、「人生100年時代を楽しく生きるセミナー」に15名が受講した。
- (3) 就業体験は、剪定（中部）と介護（西部）を開催し、8名が参加した。
- (4) 商工5団体と会員・就業拡大等について意見交換を行い、その結果を各センターに提供し連携を図った。
- (5) 各技能講習は、東・中・西部地区で8種類、14講習を開催、合計で150名が受講した。

介護補助講習	1回	定員10人	受講者	13人
障子張替講習	3回	定員30人	受講者	33人
ハウスクリーニング講習	1回	定員10人	受講者	16人
草刈技能講習	3回	定員30人	受講者	36人
剪定技能講習	3回	定員30人	受講者	25人
自動車安全運転講習	1回	定員12人	受講者	6人

スマホ講習 1回 定員10人 受講者 10人

遺跡発掘調査講習 1回 定員10人 受講者 12人

上記の活動等で、244名（目標は196名）が入会した。（達成率124％）

9 理事会及び定時総会の開催

(1) 理事会 令和6年6月5日（水）、令和6年8月30日（金）

令和7年3月21日（金）

(2) 定時総会 令和6年6月21日（金）